

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら春日若葉台教室

保護者等数(児童数) 14 回収数 11 割合 77 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1	0	1	一日の利用人数が多くないので十分と思う。体を使って遊べるほど広いと思う。	活動内容によっては公園や体育館を利用し、理学療法士指導の下、積極的に体を動かす事に取り組んでいる。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	0	0	3	子ども一人に対しての支援員数は妥当と思う。	引き続き、お子様2名に対し支援員1名を配置し、より専門性の高い人員配置を行いたい。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1	0	4	教室内をバリアフリー化されているかを見ていないのでよくわからない。	現時点では身体障がいに対応できる事業所ではないが、状況に応じて対応していく。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11	0	0	0	面談を丁寧に行っていたが、支援計画も分かりやすく作成していただけたと思う。	ご利用者、保護者様との面談の機会をなるべく多く持ち、PDCAサイクルを大切に支援計画を作成する。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	2	0	0	毎日様々な内容の活動が入っている。家で出来ないような活動ばかりで、満足している。	固定化、マンネリ化しない様に、職員間で意見を出し合い、プログラムを計画する。また新しいことに積極的にチャレンジしたい。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	0	2	5	小学校で関わりは出来ていると思う。	公園、見学先等での関わりはあるが、長時間の関わりは無い為、今後の課題。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	0	0	0	契約時に説明していただいた。	毎回契約時には読み合わせを行い、ご不明な点があれば都度ご説明させて頂いている。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	0	0	0	連絡帳を通して活動内容や子供の状況を知ることができる。	連絡帳や送迎の受け渡しの際などで、その日の様子や出来事を報告している。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1	0	1	連絡帳や送迎の際に色々教えていただいている。	個別支援計画のご説明の際に必ず面談し、保護者様の問いかけ、疑問に対し十分な支援を心掛ける。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	5	2	必要ないと思う。	保護者様によって様々な考えがあって現状実施していない。参観日などを設け、その後に交流の機会を設けた。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	0	2	苦情担当窓口はあると説明されているが、そのような状況にならないため分からない。	契約時に必ずご説明させていただき、常に体制を整えて、できる限り迅速かつ適切な対応を心掛ける。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	0	0	1	相談したことに對していつも真剣に受け止めていただき、的確なアドバイスを下さり感謝しています。	連絡帳の充実や、送迎の際や場合によっては面談し保護者様への分かりやすい説明を心掛ける。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	0	2	写真付きのお便りをいつも楽しみに読んでいる。	ホームページの充実。また毎月教室内新聞を発行し、活動内容、連絡事項をお知らせしている。自己評価も積極的に周知したい。
14 個人情報に十分注意しているか	11	0	0	0	お便りなどでも、顔が全員隠れているので配慮して頂いていると思う。	ブログや新聞の写真において、ご利用者の顔を隠すなどの配慮を行う。職員一同個人情報の取り扱いに注意している。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	1	0	4	契約の際に詳しくご説明していただいた。	緊急時、防犯、防災訓練は活動に取り入れているが、保護者への周知説明は不十分であったと思われる。今後の課題としたい。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	0	0	2	通い始めて日が浅いので、分からない。	必ず毎月、活動で避難訓練に取り組んでいる。今年度は職員が救急救命講習を受講した。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9	2	0	0	とてもリラックスできるようで、家に帰ってから落ち着いて過ごせている。	ご利用者様が楽しく通所できるよう、雰囲気作りや、支援員の対応に注意している。楽しいだけでなく、学びの場として、様々な経験を積んでいただく。
	18 事業所の支援に満足しているか	10	1	0	0	その日の様子を連絡帳を通して知ることができ、とても助かっております。支援のおかげで大きく成長できている。	定期的にアンケートをとったり、場合によっては面談をして、より良い支援に向けて取り組み、より満足度の高い教室を目指す。

153 11 7 27

77%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら春日若葉台教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	3	ご利用人数が多い日や体を動かす日は、予めテーブルなどを片付けて、安全面に配慮している。	可能な限り、外出を活動に取り入れたい。
	2 職員の配置数は適切である	10	0	児童二名に対し、支援員一名の配置を基本としている。	長期休暇中の支援員の増員を行う。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0	毎朝、教室の安全点検を欠かさず行っている。ご利用者に合った玩具などの準備。一日の流れを分かりやすく掲示している。	現状、身体障がい者のご利用は無いが今後の検討課題である。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0	会議や終礼などで振り返りを行っている。また都度、話し合っている。	勤務日数が少ない支援員にも広く周知し、参画して頂く。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	結果は職員会議で読み合わせし、共有し、より良い支援に活かしていく。	結果を真摯に受け止め、保護者の意向や改善点を正確に把握すること。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	こぼんはうすさくら本部ホームページにて公開している。	公開先や内容を保護者にもっと周知する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	こぼんはうすさくら本部の者が定期的に訪問し、業務内容をチェックしている。	第三者による外部評価は検討課題。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	1	毎月の会議の際に、積極的に研修を取り入れている。	市や社会福祉協議会、他事業所など外部研修にも参加したい。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	定期的に保護者へのヒアリングを行い、事業所内での個別支援会議にて支援員からの意見を取り入れ、計画を作成している。	利用児童と保護者とのニーズの違いに対する対応強化。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2	現状アセスメントツールを使用していないが、お持ちいただいた資料やご意見をもとに専門職が握、分析している。	お持ちいただいた資料を理解できる専門職の確保。また資料をもとに、当教室で出来る事出来ない事を明確に説明する。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	4	活動内容を児発管と確認し進めている。担当者が決まっているが相談できる環境である。	プログラムが固定化しないよう、様々な職員が意見を出し、また新しいことにも挑戦していく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	過去の活動を振り返り、有益な活動は再度取り入れている。またねらいを変えたり、ステップアップした課題に挑戦するなどしている。	職員間で、児童にとって何が必要かを常に議論し、新しい活動にも積極的に取り組みたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	2	一日ご利用の場合、午前と午後の活動、学習の時間とメリハリをつけて過ごしている。	平日なかなか行けない外出や、社会科見学を積極的に行いたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している	10	1	集団活動の中で個別療育を意識している。	放課後利用の際は時間が少ないので、いかに個別の時間を作るかが課題である、
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	朝礼後に毎朝必ずその日の活動の打ち合わせや確認を行っている。	送迎の時間が迫ることで細かい所の打ち合わせが難しい日もあり課題である。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	終礼時に必ず一日の振り返り、気付いた点などを報告し合い、問題点などあれば対応を協議している。	その日勤務していない支援員に伝わっていない時がある。連絡ノートなどの活用を徹底したい。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1	連絡帳、個人記録、一日の教室ご利用記録など、なるべく多くの記録をとり、今後の支援に活かしている。	記録する時間の確保が難しい時はあるが、なるべく質の良い記録記載を心掛ける。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	0	会議などで児童についての情報共有を行い、計画の見直しを議論している。	担当者会議に積極的に参加し、連携を行いながら、支援計画の見直しを検討していく。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	8	1	検討し様々な基本活動を取り入れている。	ご利用児童に対して好ましい活動が常に議論していく。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	現在は児童発達支援管理責任者が出席している。	児発管が出席できない日もある為、今後は対象児童に精通した他の専門職支援員の出席も検討したい。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1	学校教諭が付き添って受け渡しの際、情報共有している、また学校便りを頂くこともある。下校時刻は保護者から確認している。	もっと学校との連携を深め、日常での変化、課題などの共有に努めたい。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	現状医療的ケアが必要な児童のご利用が無い。	今後ご利用があった場合は連携が前提であると認識している。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	3	相談支援員との連携を元に、必要であれば情報共有に努めている。	関係機関や地域によって、情報共有が難しいケースがあり、課題である。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3	現状対象者がいない。	現在低学年のご利用ばかりだが、将来を見据えた支援を心掛ける。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	相談支援員との連携を元として、支援センターなどと接触し、助言など頂いている。	専門機関等が実施している研修に、できる限り参加したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	8	ほとんどの児童が小学校の支援級だが、小学校でその機会は十分にある。	小学校での交流はあるが、事業所としては行っておらず、課題である。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	6	現状参加していない。	支援時間が一日の為、なかなか外出が難しいが、機会があれば参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	連絡帳や送迎の受け渡しの際に、なるべくお伝えし、場合によってはお電話させていただいている。	送迎受け渡し時の少ない時間の中で正確にお伝えすること。場合によっては後にご連絡し共通理解を深める事。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	5	現状質問があった時のみ個別支援している。	子供の発達に合わせて家庭と一緒に支援を行う。保護者も含めた勉強会の場を設けたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	契約時に時間をかけて行っている。	分かりやすく、また説明不足がないか注意していく。
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	相談を受けた際には、丁寧かつ適切な対応ができるよう掛けている。	悩みなどを言いやすい環境を作ったり、保護者が相談しやすい雰囲気、対応を心掛ける
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	7	現状行っていない。	父母の会等の活動が無い。必要ないとの声も多いが、希望者のみ集めるのも良い機会と思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	初期対応を重要視し丁寧に行っている。	今後も管理責任者を元に全職員で共有し、迅速かつ適切な対応を心掛ける。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	毎月おたよりを発行し、写真付きで活動の紹介や連絡事項などをお知らせしている。不定期ではあるがブログでも活動のねらい等発信している。	役割分担も検討し、もっと発信の頻度を増やしたい。
	35	個人情報に十分注意している	9	1	個人情報に関する書類は全て鍵付き書庫に保管を徹底している。職員全員個人情報を持ち出さない様にしている。	今後も徹底していく。データなどの消失、流出にも注意する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	支援の際や、送迎時の保護者対応の時、何か気づいた時はスタッフ間で共有して対処している。	常に意思疎通を図りながら、また正確な情報の伝達を心掛ける。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	7	現状行っていない。	どのようにして行うかは今後の課題である。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	各種訓練は月に一回実施している。消防署、警察署の見学を行い防災、防犯の意識を高めている。救急救命講習を受講した。	保護者に対しての周知をもっと行いたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	各種訓練は月に一回実施している。消防署、警察署の見学を行い防災、防犯の意識を高めている。救急救命講習を受講した。	救急箱や非常時に持ち出す物の整備、確認の徹底。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	年に一回以上研修を行っている。	外部の研修にも積極的に参加したい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	2	現在身体拘束が必要な子供がいないが、契約時には、危険が差し迫りやむを得ない場合として、説明している。	現在身体拘束が必要な子供がいないが、必要な場合はしっかりと支援計画の記載を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	ご契約時に児童についてのヒアリングを行い必ず把握している。	アレルギーがある場合、基本お弁当とおやつは持参をお願いしている。引き続き情報把握に努める。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	ファイル作成し職員全体で記入する習慣をつけている。	些細な事でも積極的に記入し、職員全員が閲覧、共有し、今後の安全に活かしていきたい。